

# 楽しく美しい まちづくり通信…⑤7

## 学問の神「天神さま」

「天まで届け 僕の願い」

宰府へ左遷され、そこで亡くなった際、その怨霊が雷となり暴れ、その怒りを鎮めるために社を建立したのが天満宮の始まりと言われています。

日本各地の天満宮の多くは、京都の北野天満宮からの勧請されたもので、斗米駅の西側に鎮座する天満宮も例外ではありません。

この天満宮は、今から四六五年前の天文二年（一五三三）に米沢に建立され、昭和四九年迄は斗米駅の東側に祀られていましたが、バイパスの工事のため

天満宮の祭神は、「天神さん」の名で親しまれ、学問の神・受験の神様として信仰されている菅原道真公です。  
天神とはもともと天から降りてきた神で、道真公が九州の太



責任役員 沢内 淳 さん (73才)

(二戸市米沢字沢内)



駅の西側にある「佐々木館」の南端に遷座しました。今でも東側の地区は通称「天神堂」と呼び親しまれています。

新年を迎えた午後零時、今年も家族連れや学生が次々と参拝に訪れていました。なかでも、受験を前にした、中高生の姿が多く、おみくじで占ったり、志望校に合格できるよう祈願し、小絵馬を奉納する姿が多く見受けられました。

案内をしてくれた責任役員の沢内淳さんは「県北地方には天神さまを祀っている所はあまりなく、近隣の町村や青森県南の方からも参拝者がある。昔は、お年寄りや大人が多かったが、最近では天神さまの御利益に肖らうと受験生や若い人達が目立つようになった」と説明してくれました。境内では関係者により、

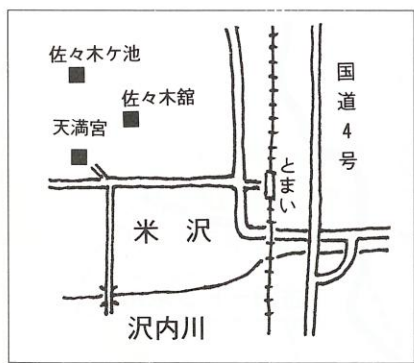


天満宮

参拝者に御神酒や暖かい甘酒が振る舞われていました。

天満宮の祭典は、八月二五日（道真公のゆかりの日）に最も近い土・日に行われます。

祭日には上米沢地区に四〇〇年以上前から変わりなく伝承されてきた、鹿踊りが奉納され、山車の運行や盆踊り大会、少年相撲大会などが行われます。（今年は八月二二、二三日）



### こよみ



★2月★

2月11日～3月10日

- 11日(水) 建国記念日
- 12日(木) 市民生活相談(市役所市民相談室)、母親学級(市保健センター)
- 13日(金) 書館
- 14日(土) 親子映画会(市立図書館)
- 15日(日) 第15回二戸市郷土芸能祭(市民文化会館)
- 16日(月) 4力月児健康診査(市保健センター)
- 17日(火) 4力月児健康診査(市保健センター)
- 18日(水) 法律相談(市役所市民相談室)、2歳児歯科健康診査(市保健センター)、雨水(二四節気)
- 19日(木) 法律相談(市役所市民相談室)、2歳児歯科健康診査(市保健センター)、雨水(二四節気)
- 20日(金)
- 21日(土)
- 22日(日) 根森えんぶり祭り(根森地区)
- 23日(月)
- 24日(火) 1歳6力月児健康診査(市保健センター)
- 25日(水)
- 26日(木)
- 27日(金)
- 28日(土)